

2017

12

December
No. 297

広報みしま

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

Mishima Town Public Relations

木のプールで遊んだよ

福島県森林環境税を活用した木製遊具を三島保育所に導入
(5ページに関連記事)



主な内容

三島町文化祭	2	図書のご案内	8
三島小まつり・生涯学習表彰式	3	町史編さん室だより	9
まちの話題	4～5	宮下病院からのお知らせ	10
町民記者通信	6～7	情報配信・お知らせ	11～13
健康で元気な毎日！	8	町長日記	14



みんなが主役！一人ひとりが輝いた 三島小まつり

三島小まつりは11月3日に三島小学校体育館で開催され、児童のみならずはこれまでの授業で学んだことや、練習を重ねた劇を発表しました。特に全校発表である和太鼓の力強い演奏にはひととき大きな拍手が送られました。

会場には保護者やおじいちゃん、おばあちゃんをはじめ多くの町民が訪れ、児童の活躍を見守っていました。

1. 全校発表「龍神太鼓」
2. 3～6年生 総合発表
「三島町の宝物を見つけて 2017」
3. 1・2年生 音楽劇
「ブレーメンの音楽隊」
4. 5・6年生 劇
「カメに負けたウサギのその後」
5. 全校合唱「もみじ」



生涯学習表彰式



生涯学習表彰式は三島小まつり終了後に行われ、読書感想文や作文、書きぞめや標語などで優秀な成績をおさめた10名が表彰され、矢澤町長より表彰状が手渡されました。

表彰者一覧

生涯学習表彰式【文化部門】

氏 名	入選コンクール等
齋藤美那(小5)	福島県読書感想文コンクール 特選
五十嵐望(小6)	福島県児童作文コンクール 佳作
小松凌大(中2)	第62回青少年読書感想文福島県コンクール 準特選
坂内遥人(会津高1)	第61回福島県書きぞめ展 書きぞめ奨励賞

三島町社会を明るくする運動標語コンクール表彰式

氏 名	標語(すべて特選)
小松智広(小5)	あいさつと 笑顔でつながる 心の輪
二瓶佳悟(小5)	たすけあい 笑顔をふやそ ぼくのまち
小松広利(中1)	あいさつは 人と人を 結ぶ橋
小柴大空(中2)	あいさつは 笑顔と幸せ つくるもの

交通安全運動標語コンクール表彰式

氏 名	標語(すべて特選)
小松智広(小5)	ニッコリと「どうぞ」「どうも」で事故がゼロ
青木信幸(中2)	守ろうよ 皆の笑顔と 交通安全



学ぶ心と好奇心 三島町文化祭

1. 三島中学生による合唱
2. 三島おいしいものの市の様子
3. 藤間会の栗城和枝さんによる舞踊
4. 防災体験コーナーの様子
5. 東北サファリパークによるサル劇場
6. 除雪ドーザー展示、体験乗車
7. 会津みしま自然エネルギー研究会によるロケットストーブ展示の様子
8. 芸能発表会には大勢の人が訪れ、発表を楽しんでいました。

三島町文化祭は文化の日の11月3日、町民センターで開催され、会場には、書、絵画、写真、生け花など町民の皆さんの作品が多数展示されました。また、食堂も宮下婦人会の方々により運営されたほか、役場前では農産物の販売、会津地鶏唐揚げ、いわき市四倉からの海産物などが販売されました。除雪ドーザーの展示や防災体験コーナーなども設けられ、貴重な体験の機会となりました。

芸能発表会では、三島中学生の合唱、文化協会加盟団体などによる発表や東北サファリパークによるサル劇場などが披露されました。



桐

の植栽やものづくりを体験

三島小学校・柳津町立西山小学校 総合学習

三島小学校と柳津町立西山小学校では、総合学習の時間で桐について学んでいます。11月13日、西山小学校の3・4年生が総合学習の一環で、西方地区にある桐畑を見学しました。藤田旭美町桐専門員から桐の育て方を学んだり、桐の種をじっくりと観察したほか、生活工芸館の鈴木敦木工指導員に木材に関する疑問について答えてもらうなどして、理解を深めていました。

11月15日は、三島小学校3・4年生が大石田地区の桐植栽地で植樹と雪囲いを行いました。掘った穴に桐を置き根を傷つけないようにしながら土を被せ、植樹が終わった後はカヤを巻いて動物の食害の対策を取るなどして桐の扱い方を学びました。総合学習の時間では、今回の植樹のほかに座学やものづくりを通して桐について学んでいます。

町では、次世代に桐を伝えるため今後も植栽地の整備や栽培の研究を進めていきます。



木

のぬくもりに触れてみよう

県森林環境交付金を活用した木製遊具を導入しました

町では福島県森林環境交付金を活用して県産材を用いた遊具などを導入し、木のぬくもりを感じながら遊べる機会を設けています。今年度は三島保育所に木の球（ブナ・ホノキ製）計6000個を導入しました。子ども達は最初は戸惑っていましたが、中に入ると木球の独特の感触を気に入ったようで、楽しそうに遊んでいました。



交

通事故のない町を目指して

交通事故死者ゼロ 3000 日表彰伝達式

11月16日、交通事故死者ゼロ3000日表彰伝達式は同日町民センターで行われ、戸田光昭会津地方交通対策協議会長より表彰状が伝達され、矢澤源成町交通対策協議会長が表彰状を受け取りました。

町内では平成21年8月29日以来、死亡事故が発生していません。これからも事故を起こさないように気をつけましょう。



町

出身者の親睦深め、ふるさと懐かしむ

第41回 首都圏三島会総会

11月18日に第41回となる首都圏三島会総会が東京都上野にて開催され、町から町長・副町長をはじめ議会議員が来賓として出席しました。今年度は役員改選があり、新会長に井関潮氏（滝谷出身）が就任されました。47名の出席のもと、総会終了後には懇親会が行われ、三島町の話題でふるさとを懐かしんでおられました。

新規加入者も随時募集しております。加入を希望される方・興味のある方はぜひご連絡ください。

【問】首都圏三島会事務局 志田敏彦 電話 029-273-3861



流シェフの料理を味わう

秋の味覚祭

公民館主催の秋の味覚祭は10月25日に交流センター山びこで開催され、三島小・中学生が一流シェフの料理を味わいました。今回は、会津若松市でレストラン「Teppanyaki あいづ家」を営む佐藤学シェフによる会津地鶏など地元食材を使った料理を、小学生が育てたお米と一緒に食べました。食後は三島中学生による合唱が披露され、シェフへ感謝の気持ちを伝えました。



◀佐藤学シェフ

お

菓子をくれなきゃいたずらしちゃうぞ！

三島保育所 ハロウィンパレード

三島保育所の子どもたちによるハロウィンパレードは10月31日に行われました。子どもたちはハロウィンにちなんだ手作りの衣装を着て、宮下地区の商店などの店先で「トリックオアトリート！（お菓子をくれないと、いたずらしちゃうぞ）」と元気よくかけ声をかけると、地区の方々は可愛く変装した子どもたちに笑顔でお菓子を手渡していました。



予

防・消防に余念なし

三島町消防団秋季検閲式

三島町消防団秋季検閲式は11月5日に町民運動場で実施されました。佐藤誠福島県消防協会会津坂下支部長を統監とし、団員の皆さんは小隊訓練や通常訓練、分列行進について検閲を受け、はつらつとした動きを見せました。また、20年、15年勤続者が表彰され、受賞者を代表して栗城哲朗さん（宮下班）が謝辞を述べました。



火

の取扱いには十分注意しましょう

高齢者世帯防火防犯診断

秋の火災予防運動期間に合わせて、高齢者世帯を対象として、防火防犯診断を11月15日に実施しました。町社会福祉協議会・会津坂下消防署三島出張所・会津坂下警察署三島駐在所・消防団・東北電力(株)宮下サービスセンター・民生児童委員の皆さんが高齢者宅を訪問し、詐欺防止啓発や住宅用火災警報器の動作確認、漏電調査などを行いました。



野

球の楽しさを実感

ふれあい野球教室

町野球チーム「ヒートブロウ」による今年度2回目の野球教室は11月12日に町民運動場で行われました。参加者の皆さんはメンバーからコツを教わりながらベースランニング、キャッチボール、ノックやバッティング練習を行いました。昨年から参加している人もいるため、どんどん上達していききました。

ヒートブロウでは、来年も野球教室の開催を予定しています。



川井老人クラブの親睦旅行 文・写真 角田伊一さん（川井）



川井老人クラブ長寿会（長谷川幸栄会長）の今年度親睦旅行は11月1日に行われ、21名が参加して西会津方面をゆっくり堪能してきました。午前9時に西会津ロータスインのお迎えのバスに乗り込み、国道49号経由で西会津町に到着。まず四岐地区の如法寺観音を参詣しました。県指定天然記念物コウヤマキなどの大森林に囲まれた大伽藍に登り、会津三ころり観音として崇敬される鳥追い観音像・聖観音立像を拝観したあと、堂内の男柱、女柱に抱き着いて身体堅固を祈願しました。続いて大久保の大山祇神社を参詣し、今年の豊作を感謝し、あわせて来年の豊穰を祈願しました。

親睦旅行の最大の楽しみである宴会は町営のロータスインで行いました。案内された宴席には山海の珍味が所狭しと並べられ、会長の挨拶や乾杯の音頭もそこそこに、早速料理に舌鼓をうちました。

食事のあとは温泉に入浴するなどゆっくり保養し、帰路は道の駅よりっせで土産物などの買い物をすませ、夕刻早めの帰宅となり楽しい親睦旅行を終えることができました。



地鶏ラーメンの出張販売が大盛況

文・写真 本名与四郎さん（西方）

11月11日、三島町商工会青年部主催による「三島町産会津地鶏ラーメンの出張販売」がふるさとセンターで行われました。当商工会青年部が町内外のイベント等においてPR活動の一環として、多くの町民の方にご賞味いただくことを目的とし、西方地区において出張臨時営業となりました。

当日は、冷たい雨が降っていたにもかかわらず、多くの地区町民が和室の部屋に所狭しと参集し、具沢山で熱々の会津地鶏ラーメンの味を堪能しました。



地区のオアシスふるさとセンターの冬囲い終わる

文・写真 本名与四郎さん（西方）

11月18日より、西方地区住民のオアシスとなっているふるさとセンターの冬囲い作業が行われました。

当日は、今にも雪が降りそうな冷え込んだ朝方でしたが、幸いにも雨にあらず曇り空の中、北館区長を中心に地区委員の方々が協力し合いながら作業に取りかかりました。

例年行われている組み立て作業とはいえ、パイプ管の接合がうまくかみ合わなかったり、バランスが不均衡だったりする場面もありましたが、ケガ、事故なく無事終了することができました。その後、地区内のガードレールの撤収作業も行われました。



冬囲い作業と清掃活動 文・写真 佐々木邦雄さん（桧原）

11月5日早朝に、地区恒例の春日神社境内の鳥居・灯籠の冬囲いと落ち葉の清掃および神社周辺の町道の清掃作業を37名の参加により、手際よく進められ、これからの厳しい冬を迎える準備ができました。また、来春の4月、山々に残雪が残る頃の撤去作業を皆様心待ちにされていました。人足終了後は、地区役員により上峠より地区への引水のための、各集水樹等の落ち葉や土砂の撤去作業と、来年1月15日に実施される地区のサイノカミの準備のためにカヤ刈りを実施し、本日の全作業を無事終了できました。作業に参加された地区の皆様、大変お疲れ様でした。



今年も美味しいそばに

文・写真 小島純さん（宮下）

みやした蕎麦と豆腐の会（佐久間宗一会長）では、11月7日に宮下活性化センターにおいて、宮下・荒屋敷地区の応援隊の協力を得て、先日刈り取ったそばの脱穀作業を行いました。地区の景観に関心のある人、みんなできれいな町にしようと思っている人、老若男女幅広い参加を呼びかけて、毎年行っている作業です。

みんなで収穫、脱穀したそばで「収穫祭」が近々行われる予定です。

自分だけの「サイ」できたよ！ 文・写真 小島純さん（宮下）

11月17日、三島小学校の児童たちは宮下地区（目黒政寿区長）が進めている「君だけのサイの札を作ろう！」プロジェクトに参加しました。町民センター大ホールで三春町在住の女流書家の千葉清藍さんの指導を受けながら、提案された「歳」「采」「財」「才」「サイ」の中から各自好きな「サイ」を選び、桐の札に筆書きしました。

書き上げた後は三島神社に移動し、境内に札を設置しました。



早戸地区伝統の「虫供養」が行われる

文・写真 橋本光五郎さん（早戸）

11月10日、早戸地区で伝統行事「虫供養」が行われました。地区の方のほか、三島小学校3・4年生12名が加わりました。三島小学校の児童はここ数年、「虫供養」に参加しています。

「虫供養」に先立ち、児童達は11時より五十嵐紀美子さんから早戸地区の「神々の道」と「虫供養」の話を聞き、その後、三島町の川合正裕学芸員の案内で「堂の前観世音」から「石坂の夜泣き地蔵」までの「神々の道」と「大山祇神社」「恩沙那巍神社（疱瘡様）」を見学しました。

午後1時からの「虫供養」は、佐久間弥一さんが鐘をつきながら先導し、地区の下から歩き始め、上の虫供養塔まで児童達と一緒に歩きました。虫供養塔では地区内外の方々と合流し、全員で「虫供養」を行いました。今年は児童・地区内外の方々を含め約35名に参加していただきました。

このような地区の伝統行事を通じて、若い世代に三島町の歴史や出来事を知ってもらう機会が増えていけばいいと思います。



健康で元気な毎日！

町民課保健福祉係 ☎ 4 8 - 5 5 6 5



糖尿病患者が全国で増えています

11月14日は世界糖尿病デーでした。この日大手新聞社は1、2面全部にその記事を載せ糖尿病についての広告を行いました。ご覧になりましたでしょうか？

日本の糖尿病患者数は厚生労働省が実施した「2016年国民健康・栄養調査」によると推計で1000万人に達したそうです。前回調査(2012年)よりも50万人増えているそうです。厚生労働省では保険者努力支援制度という制度を作り、糖尿病を重症化させないための訪問をきちんとしている保険者(市町村)にお金を分配するなど糖尿病の重症化に取り組んでいることから、糖尿病対策は国を挙げての問題になっていることがわかります。

なぜそんなに騒がれるの？

糖尿病で怖いのは合併症です。福島県立医科大学の島袋充先生は糖尿病の合併症で起こる「しめじ」と「こがに」にならないようにと講演活動を行っています。

- しめじ～『し』神経障害 『め』目 『じ』腎臓
- こがに～『こ』梗塞(脳梗塞や心筋梗塞) 『が』がん 『に』認知症

合併症を起こさないためには

- ①まず健診を受けて自分の血糖の数値を確認しましょう。
(HbA1cが5.4～6.4は軽度異常、6.5以上は異常、糖尿病領域です)
- ②健診で異常値が出たら病院を受診しましょう。
- ③治療を始めたなら食事、運動、服薬などで血糖をコントロールしましょう。
- ④服薬や治療を決して中断しないでください。
これらが重要です。血糖コントロールの方法などについて支援致しますので、糖尿病について心配のある方はぜひ保健師に相談して下さい。

三島町生活習慣病の発生状況(人)

	糖尿病	高血圧	脂質異常症
平成24年	50	122	77
平成25年	50	119	80
平成26年	54	117	78
平成27年	55	132	94
平成28年	56	127	96

(国保状況)

図書のご案内

町民センターゆめぽけっと

下記の雑誌を毎月購読しています。
ひよこクラブ・たまごクラブ・
山と溪谷・オレンジページ・壮快・
Number



○利用時間

- ⑧～⑪ 午前9時～午後9時
- ⑩・祝日 午前9時～午後5時
- ※年末年始は閉館いたします。

問 公民館 ☎ (48) 5599

世界糖尿病デー

～「しめじ」と「こがに」～



新田の開発と他村・他地域との交流(大谷地区)

町史編さん室だより

第23回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、
交流センター山びこまでご一報ください。
☎ (52) 2165

昭和四十三(一九六八)年に刊行された『福島県史 近世史料四』に、享保五年(一七二〇)に証文を取り交わし決着した大谷村の二人と黒沢村(柳津町)との出入(訴訟)が掲載されています。

内容を見ると、大谷村の伊右衛門と藤兵衛が黒沢村の焼畑二十六枚を三百文で借りて耕作し、一部を水田に直したこと。黒沢村では寛文八年(一六六八)田数が三百五十七枚(一町二反)だったものが、延宝六年(一六七八)には新田が三十六枚(九畝)開発され、それに加えて伊右衛門らが開いた新田二十三枚(八畝)があるとし、その年貢は黒沢村に納めていたと記されています。

出入となったのは伊右衛門らと黒沢村との水田を巡る用水に関しての揉め事で、田島代官所へ仲裁を求めました。この古文書で興味深いのは、黒沢村を流れる現在の滝谷川の河川敷に、漆の木を伊右衛門が四十三本、藤兵衛が二十五本植えて植林したことを代官所に指摘され、今後は枯れるままに任せ、諸々の木も含めて植えないよう禁じ、また川原の原野(河川敷)に畑を拓くことも禁じているこ

とです。これは大谷村の二人だけでなく、黒沢村の人々も同じように禁じられています。当時、未開発地が河川敷しか無いような状況にもかかわらず、諸木を植えたり、畑を拓いたりすることを代官所が禁じたのは先月紹介した川の氾濫と関連しているのでしょうか。

伊右衛門ら大谷村の二人が黒沢村で新田を切り拓いたり、漆木を植えたりするに至った経緯はわかりませんが、黒沢村が彼らに新田開発などの技量を期待し、二名を招いたのかもしれない。伊右衛門たちは元禄四年(一六九二)から、刈敷(かつちき)、炭焼、草木の利用を黒沢村人と同じように認められており、出入となるまでの二十年以上もの間、両者の関係は良好であったと考えられるためです。

それから約百年後の文化十二年(一八一五)、大谷村の名主家類族は、黒沢村との境界「とうせん畑沢口(堂膳畑山)」の「新田切」(新田開発)を手がけています(二瓶治右衛門『新田開発日記覚帳』)。「新田切」として専門の職人を越後国蒲原郡村松藩領原村の小兵衛と房太郎、荻堀村の勘太郎の三名を招き(現在

文 三島町史編さん専門委員 菅家 博昭

道の駅みしま宿に花壇ができました
花と緑いっぱいのふるさとづくりプロジェクト

11月13日、道の駅尾瀬街道みしま宿で「花と緑いっぱいのふるさとづくりプロジェクト」「市町村の花」の花壇完成セレモニーが行われました。昭和43年から始まった花いっぱい県民運動の50周年の節目として行われたこのイベントでは、矢澤町長と柳沼幸男福島民友新聞社専務、布川孝宏道の駅駅長、三島保育所の子ども達が県の花ネモトシャクナゲや町の花であるオオヤマザクラ、パンジーの記念植樹を行いました。

また、平成30年6月10日に南相馬市で開催される、第69回全国植樹祭に向けて県民参加の森林づくりに取り組む「森林とのきずなづくり植樹リレー」も行われ、柳沼専務が金山町から託されたブナ製のバトンを矢澤町長に手渡しました。



消防署よりお知らせ
～暖房器具の取り扱いに注意しましょう～



ストーブの火災は、不注意や誤った使用方法により起こります

●乾燥機代わりにしたために

洗濯物が乾きにくいこの季節。つい、ストーブの真上や近くで洗濯物を乾かしてしまいがち。乾いてくると、軽くなった洗濯物がストーブに落ちて火災に…。

ストーブの近くで洗濯物を乾かさない！

●スプレー缶が爆発！

スプレー缶をストーブの近くに置きっぱなしにしたため暖められて中のガスが膨張し、爆発して火災に…。スプレー缶をストーブのそばに置いたり、近くで使用してはいけません！

●タンクの灯油がこぼれて…

ストーブを使っている途中で灯油が切れた。そこで、点火したままタンクを抜いて給油した。セッティングとタンクをひっくり返したら、ふたがはずれ灯油がストーブにこぼれて……。

給油するときは必ずストーブを消すこと。
給油したあとタンクのふたをきちんと閉めたか確認すること！

火事・救急・救助は119番まで
会津坂下消防署三島出張所
電 話 52 - 3032
FAX 52 - 3033

福島県立川口高校からのお知らせ

本校ではこれまで、本校生による地域のお年寄りの方々への年賀状送付という活動を行ってまいりました。しかしながら近年、特に個人情報の取扱いが課題となり、検討を重ねた結果、誠に残念ではありますが、この活動を見直さねばならない時期がきていると考えました。

毎年心待ちにしていた方々には大変申し訳ありませんが、本年度より、年賀状送付の活動は中止させていただくことといたしました。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

本校では今後も、地域と連携する諸活動を鋭意進めてまいりますので、地域の皆様には、本校に対するより一層のご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

福島県立川口高等学校長 長島 雄一

◆診療日誌

【かかりつけ医をもとう！】 宮下病院 内科医長 五十嵐 亮



日常的な診療や健康管理等を行っていくれる身近なお医者さんのことを「かかりつけ医」と呼びます。国の方針により専門医療は大病院、日常診療は近くの病院・診療所を受診する事で大病院の患者さんの待ち時間を減らし、医療資源の節約を目指しています。さらに「かかりつけ医」は皆さん各個人にとってもお得です。

大病院の方が安心という気持ちもあると思いますが、現在の医療は臓器ごとに細かく分かれており、総合病院だから全身を診てもらっているとは限りません。現在宮下病院の内科医師は自治医大の卒業生で構成されており、私たちはそんな「全身を診る」ことを得意としております。

遠距離の通院に負担を感じたら、現在かかっている病院または宮下病院にご相談ください。

かかりつけ医のメリット

- ・命にかかわる病気や見つかりにくい病気の早期発見につながる。
- ・待ち時間が比較的短く、受診の手続きも簡単で、じっくり診察してもらえる。
- ・入院や検査が必要な場合、適切な病院・診療所を指示、紹介してもらえる。
- ・食事面等、日常の健康管理のアドバイスをしてもらえる。

⑤ 愛ばんしょ外来のお知らせ



「みしま健康ポイント」の対象です！

宮下病院では、毎週木曜日「在宅療養生活支援外来（愛ばんしょ外来）」を行っています。

- ① 病気や障がいを抱えて家で生活する方や、家族からの介護や生活についての相談窓口
- ② 地域に住む方々の健康維持・増進、介護・疾病予防のための支援
- ③ 地域に住む方々が気軽に立ち寄れる交流場所の提供などを目的に、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフが皆様の在宅生活のためのお手伝いをさせていただきます。

※相談コーナーでは、例えば……
「健康のことを考えたいけど、何をすればいいのかわからない」
「介護のコツを知りたい」
「話し相手が欲しい」
など、健康、介護、医療に関することについてご相談をお受けします。

＜各コーナーの開催時間のお知らせ＞
相談コーナー 午前9～12時、午後1時～午後4時
健康教室 午前11時～午前11時半
住民交流イベント 午前10時～午前10時30分
午前11時～午前11時30分
宮下病院外来待合室で行います。

月 日	内 容
12月7日㊦	・相談コーナー ・健康教室「ミサイル発射時の行動～命を守ろう～」(講師：看護師)
12月14日㊦	・相談コーナー ・住民交流イベント「クリスマスコンサート」(演奏：岩沢 麻実さん)
12月21日㊦	・相談コーナー ・健康教室「ロコモとは？ロコモ度をチェックしよう」(講師：リハビリスタッフ)
12月28日㊦	・相談コーナー ・健康教室「おもちの食べ方 ～おいしく安全に～」(講師：看護師)
1月4日㊦	・相談コーナー ・健康教室「おもちの食べ方 ～おいしく安全に～」(講師：看護師)

※健康教室の内容は、変更になる場合があります。

費用は無料です。また、参加すると「みしま健康ポイント」が貯まります。どなたでもご利用可能ですので、お気軽にお越しください！（予約不要です） 職員一同、心よりお待ちしております！

☎ 宮下病院 ☎ (52) 2321

自営業の方やその家族、学生などの国民年金第1号被保険者の皆様へ
国民年金基金制度のご案内

- 国民年金基金は、自営業の方やその家族、学生などの国民年金の第1号被保険者の方々がゆとりある老後を過ごすように、国民年金に上乗せする公的な年金制度です。
- 加入できる方は、国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方および60歳以上65歳未満の国民年金に任意加入している方になります。
- 65歳から生涯受け取ることができる終身年金が基本ですので、制度を利用することで長い老後の生活に備えることができます。
- 掛金は全額が課税所得から控除できるので、所得税と住民税が軽減されます。受け取る年金も公的年金等控除の対象となりますので、税制面で優遇されます。
- 万が一早期に亡くなった時、家族に遺族年金一時金が支払われますので、掛け捨てになりません（一部の年金タイプを除く）。遺族一時金は全額非課税です。
- 加入した時に確定した掛け金額と年金額は変わりません（ご加入時の内容でお支払いした場合）
- ライフプランに合わせて、年金額や受取期間を設計できます。

フリーダイヤル ロード ヨイクニ
☎ 福島県国民年金基金 0120 (65) 4192
〒960-8043 福島市中町1番19号 中町ビル5階
http://www.fnfp.or.jp

ご寄附ありがとうございました



会津ヤクルト販売㈱ 「福祉ヤクルト」

10月30日、会津ヤクルト販売㈱の酒井美恵子さんと猪俣達子さんが町長室を訪れ、矢澤町長に寄附金を手渡しました。
会津ヤクルト販売㈱では、毎年「福祉ヤクルト」としてヤクルト商品の売上金の一部を市町村や社会福祉協議会に寄附し、社会福祉に貢献しています。

自動車の登録（移転・変更・まつ消）はお済みですか

- 自動車税は、毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている所有者（割賦販売購入の場合は使用者）に課税されます。
- 例年、「持っていない車の納税通知書がきた」、「納税通知書がこない」等の問合せが数多く寄せられています。
- 納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は3月31日までに運輸局支所で登録手続きを済ませましょう。
①住所が変わった ②自動車を人に譲った ③廃車した など

☎ 福島県会津地方振興局県税部 課税第二課 ☎ 0242 (29) 5261



会津坂下警察署よりお知らせ

架空請求詐欺を知っていますか？ 被害件数 38件 7,889万円（平成29年10月末）

手口は、有料サイト利用料や訴訟関係費用名目など架空の料金を請求するメールを送付するなどして、現金を振り込ませたり」送付させるなどしてだまし取る詐欺です。

本年7月中旬頃、会津坂下町に居住する女性Aさん（40代）の携帯電話に、ネット利用の未納料金がある旨のショートメールが送信されてきたことから、メールに記載された番号に連絡したところ、相手（犯人）から「ネットの未納料金がある」などと言われ、この話を信じたAさんは、相手の指示に従い、数回にわたり、宅配便で現金合計約535万円を送付し、被害に遭ったもの。



事例



カクニンジャー福くん

- ①身に覚えのないメールで「サイト料金が未納です」「法的手続きを取ります」との通知がきたら、支払う前に警察へ相談するでござる。
- ②コンビニエンスストアなどでインターネット用ギフト券や電子マネーをだまし取る手口にも注意するでござる。

被害に遭わないために

町からお知らせ

12月分納税のご案内

【納期限 12月25日】

- ▼固定資産税（第3期）
- ▼国民健康保険税（第5期）
- ▼介護保険料（第5期・普通徴収）
- ▼後期高齢者保険料（第5期・普通徴収）

忘れずに納付ください。

☎ 町民課町民係 ☎ (48) 5555

社会福祉協議会より

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

長谷川 秋 義 様（川井）
栗田 路子 様（宮下）

心配ごと相談（人権相談）

12月6日（水） 午前9時30分～
午前11時30分
福寿草

ひまわりサロン

12月14日（木） 町民センター

☎ 社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

町の人口と世帯（11月1日現在）

人口	1,679	増減	+2	出生	0
男	822		0	死亡	2
女	859		+2	転入	5
世帯	778		0	転出	1

④住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

はじめまして赤ちゃん

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。
※右記発生件数は、平成29年1月1日からの累計数となっています。

お悔み申し上げます

栗田 オリカ（94才・宮下）

来永くお幸せに

西 恭平・茉美（中平）

今月はおりました。

※掲載を希望する方もされない方も、各種手続き時に『広報みしま掲載同意書』に記載事項を記入していただきます。ご協力をお願いいたします。

☎ 総務課総務係 ☎ (48) 5511

ゴミの焼却は犯罪です！

簡単な焼却炉や穴を掘ってゴミを燃やしていませんか。近所に煙やにおいなどで迷惑がかかります。ダイオキシンなどの有害物質を発生させ、健康や環境に悪い影響があり火災の原因にもなります。ゴミを焼却したら5年以下の懲役または1,000万円以下の罰金です。適切に分別し、ゴミとして出しましょう。

☎ 福島県会津坂下警察署生活安全係 ☎ 0242 (83) 3451

第29回ふくしま駅伝大会

7町村連合チーム「希望ふくしま」が

初の正式順位

第29回ふくしま駅伝大会は11月19日、白河市から福島市まで中通りを縦断する16区間、94・8kmのコースで開催されました。三島、金山、昭和、湯川、檜枝岐、川内、葛尾の7町村からなる連合チーム「希望ふくしま」は結成5年目となる今大会で初めて総合順位の対象となりました。チームは目標としていた20位台には届きませんでした。雪のちらつくなか選手の皆さんは力走し、総合33位となりました。

当町からは北館亮さん（西方）が福島大学入口から福島県庁前ゴールまでの最終16区（8.4km）を走り、三島中3年の小平梨々花さん（西方）、星日代里さん（西方）は控え選手としてチームメイトをサポートしました。



「希望ふくしま」の皆さん

区間・距離	選手	年齢・学年・所属等	町村	区間記録	区間順位
1区 4.0 km	木戸美帆	石川町社協	葛尾	11' 9"	25 位
2区 8.2 km	三瓶将哉	ふたば未来学園高2年	川内	29' 02"	41 位
3区 5.8 km	本名 萩	昭和中2年	昭和	19' 58"	18 位
4区 7.3 km	中丸凌太	金山ホーム	金山	26' 24"	35 位
5区 6.4 km	猪狩拓未	科学技術学園日立高2年	川内	22' 00"	21 位
6区 8.3 km	鈴木貴人	ふたば未来学園高教員	湯川	29' 39"	42 位
7区 5.2 km	坂内謙介	湯川中2年	湯川	18' 10"	21 位
8区 4.1 km	大須賀翔	湯川中3年	湯川	14' 22"	17 位
9区 3.0 km	櫻井愛心	湯川中2年	湯川	13' 24"	44 位
10区 9.3 km	玉木章吾	葛尾中教員	葛尾	31' 22"	32 位
11区 3.9 km	片桐亜子	川内村もりたろうプール	川内	15' 16"	27 位
12区 7.0 km	柏木純翔	会津高1年	湯川	24' 07"	25 位
13区 4.8 km	五ノ井浩	NEC 情報システムズ	金山	18' 12"	47 位
14区 5.7 km	滝沢隼人	会津工業高1年	湯川	21' 58"	43 位
15区 3.4 km	滝沢千代	金山中3年	金山	14' 44"	48 位
16区 8.4 km	北館 亮	三島町役場	三島	29' 48"	45 位
全長 94.8 km	5° 42' 45" 総合 33 位				

町長日記 ～再生可能エネルギー活用 の課題2～

No. 29

先月号で約束した、再生可能エネルギーに対する基本的な考え方を述べてみます。なお、現在お願いしている「三島町林業施策計画策定委員会」の意見や町と国立研究所との連携事業施策の方向性を縛るものではなく、最大限尊重していくことをご理解いただきたいと思います。

私の基本的な町づくりの方向は、「自分の足下の泉を掘る」事です。足下に泉が湧いているのかと考える方もおられると思いますが、「泉」の本質は過去の町づくりの歴史から学び取る事が出来ると考えています。

そこに時代の流れをどの様に味付けしていくのかどうかであると考えています。

そのような観点から、この再生可能エネルギー活用の方策を考える時、一点目は当然三島の再生可能エネルギーは、健全な山林を整備すること、再生可能な山林の視点から考えると木材の活用を促進していく必要があると考えています。森林を伐採することは環境破壊であるという時代もありましたが、残しておくべき山や切るべき山を区別して適切に管理保全していく事が求められています。持続可能な地域を創造していくには、山林や山里の整備が我々が生きるためには必要であると考えています。しかし林業再生の課題も多くありますのは町民の皆様ご承知の通りであります。木材の需要低迷や担い手不足で間伐されずに放置されている山が多くあり、林道の整備が進んでいなく、国産材は輸入材に比べ運ぶコストが高いことや、過疎化による担い手不足、所有者の不明や登記相続がなされず林業の集約化が進まないのが現状であります。

これらの課題をどう解決していくのが林業再生の大きな課題として、我が町ばかりではなく日本の林業振興の課題としてあります。

山村の持続可能な地域社会を創造するには、課題解決が進まないとい何も進展しないという発想でなく、入口の課題（原料調達）も念頭に置きながら、出口から進めていくことが全体を動かすことになると考えています。走りながら考えることも時には大切であります。考えながら何もしないのは無責任であります。事業効率や雇用の場そして経営主体等々の課題を解決し、環境に優しい三島を創造していく事が、三島の町づくりの歴史を考えた場合に新たな一歩であると考えています。今議論していただいている林業施策計画策定委員会等のご意見を拝聴しながら財政的側面を充分に考慮しながら展開していく覚悟です。

二点目は、温泉熱等を利用した農業や克雪への利用促進であります。三点目は小水力発電や太陽光発電であると考えています。国のエネルギーミックスの動向や補助制度を活用して考えていきたいと考えています。町民の皆様の忌憚のないご意見をお願いいたします。

三島町長 矢澤 源成

■発行 三島町 ■編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5511

■ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

■印刷 三洋印刷株式会社